

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成28年8月18日(2016.8.18)

【公開番号】特開2015-8620(P2015-8620A)

【公開日】平成27年1月15日(2015.1.15)

【年通号数】公開・登録公報2015-003

【出願番号】特願2013-133525(P2013-133525)

【国際特許分類】

H 02 J 50/00 (2016.01)

H 02 J 7/00 (2006.01)

【F I】

H 02 J 17/00 B

H 02 J 17/00 X

H 02 J 7/00 301D

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月24日(2016.6.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

1又は複数の受電装置に対して無線電力伝送を行う無線電力伝送手段と、

前記無線電力伝送手段による無線電力伝送の実行状況に応じて、前記無線電力伝送手段が実行中の無線電力伝送の相手先と異なる他の受電装置に無線電力伝送が行えないこと、または前記他の受電装置に無線電力伝送が行えることをユーザに通知するための制御を実行する通知手段と、

を有することを特徴とする無線電力伝送装置。

【請求項2】

前記無線電力伝送手段が無線電力伝送している電力に基づいて、前記他の受電装置に無線電力伝送が行えないことを通知するか、または前記他の受電装置に無線電力伝送が行えることを通知するかを判定する判定手段、を有することを特徴とする請求項1に記載の無線電力伝送装置。

【請求項3】

前記他の受電装置から要求された電力に基づいて、前記他の受電装置に無線電力伝送が行えないことを通知するか、または前記他の受電装置に無線電力伝送が行えることを通知するかを判定する判定手段、を有することを特徴とする請求項1に記載の無線電力伝送装置。

【請求項4】

前記通知手段は、前記他の受電装置からの電力要求の受信に応じて、前記通知を行うことを特徴とする請求項1乃至3の何れか1項に記載の無線電力伝送装置。

【請求項5】

前記他の受電装置に対して無線電力伝送を開始した場合、送電開始通知を他の無線電力伝送装置に対して送信する送信手段を有することを特徴とする請求項1乃至4の何れか1項に記載の無線電力伝送装置。

【請求項6】

他の無線電力伝送装置から送電開始通知を受信する受信手段、を有し、

前記通知手段は、前記受信手段による前記送電開始通知の受信に応じて前記通知を中止することを特徴とする請求項1乃至5の何れか1項に記載の無線電力伝送装置。

【請求項7】

前記無線電力伝送手段による無線電力伝送が可能な距離に存在する他の受電装置を検出する検出手段、を有することを特徴とする請求項1乃至6の何れか1項に記載の無線電力伝送装置。

【請求項8】

前記通知手段が前記他の受電装置に対して無線電力伝送が行えないことを通知している場合、かつ、前記検出手段が前記他の受電装置を検出した場合、前記他の受電装置に対する無線電力伝送に関する警告を表示する表示手段とを有することを特徴とする請求項7に記載の無線電力伝送装置。

【請求項9】

前記通知手段が前記他の受電装置に対して無線電力伝送が行えないことを通知している場合、かつ、前記検出手段により前記他の受電装置を検出した場合、前記他の受電装置を移動させるように促すメッセージを通知するメッセージ通知手段、を有することを特徴とする請求項1乃至8の何れか1項に記載の無線電力伝送装置。

【請求項10】

前記無線電力伝送装置は、送電装置であることを特徴とする請求項1乃至9の何れか1項に記載の無線電力伝送装置。

【請求項11】

前記通知手段による通知は前記他の受電装置に対してと無線電力伝送が可能な距離となる前に行われることを特徴とする請求項1乃至10の何れか1項に記載の無線電力伝送装置。

【請求項12】

前記通知手段は、ランプの発光、画面に表示させる画像、及び、スピーカーから出力される音のうち、少なくともいずれか1つによってユーザに対する通知が行われるように制御を実行することを特徴とする請求項1乃至11の何れか1項に記載の無線電力伝送装置。

【請求項13】

前記通知手段は、前記他の受電装置に対して無線電力伝送が行えないこと、または前記他の受電装置に対して無線電力伝送が行えることが、前記他の受電装置からユーザに通知されるように、前記他の受電装置に対して通知を送ることを特徴とする請求項1乃至12の何れか1項に記載の無線電力伝送装置。

【請求項14】

1又は複数の受電装置に対して無線電力伝送を行う無線電力伝送手段を有する無線電力伝送装置の制御方法であって、

前記無線電力伝送手段による無線電力伝送の実行状況に応じて、前記無線電力伝送手段が実行中の無線電力伝送の相手先と異なる他の受電装置に無線電力伝送が行えないこと、または前記他の受電装置に無線電力伝送が行えることをユーザに通知するための制御を実行する通知工程を有することを特徴とする無線電力伝送装置の制御方法。

【請求項15】

請求項14に記載の制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上記課題を解決するために本発明に係る無線電力伝送装置は、1又は複数の受電装置に対して無線電力伝送を行う無線電力伝送手段と、

前記無線電力伝送手段による無線電力伝送の実行状況に応じて、前記無線電力伝送手段が実行中の無線電力伝送の相手先と異なる他の受電装置に無線電力伝送が行えないこと、または前記他の受電装置に無線電力伝送が行えることをユーザに通知するための制御を実行する通知手段と、を有することを特徴とする。